

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター あゆむいいで (放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	令和8年1月19日		令和8年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・利用時には、とにかくストレスなく楽しんで過ごせるように、次に日のエネルギーをしっかり貯められるような環境作りに力を入れ支援をしている。	・希望の活動を聞き込み、その準備等を見える化して対応している。	・利用時、楽しめるような活動メニューの開発を継続する。
2	・保護者との情報共有や必要な話題のやり取りを丁寧に行っている。	・本人の強み(エンパワメント)に着目し、課題に対しての対応の仕方を検討している。	・ネガティブな課題を保護者に伝えるときも、良い方向に向かっているような言葉の使い方や対応方法等配慮している。
3	・地域の資源を多く活用し、地域住民との適切で明るい関係性の持ち方を考慮している。	・事業所近辺の住民との交流、地域施設の適切な活用、散歩コースでの近隣住民とのふれあい等を大切に対応している。	・地域との関係性をよりよく保ち貢献していくために、要所所での対応を継続する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・センター機能がまだまだ不足している面があるため、今後の展開を検討していきたい。	・職員全体での課題抽出と地域の放課後等デイサービス事業のリーダーシップを取っていくためにはどのような体制が必要か検討していない。	・研修を活用し、委員会の立ち上げを検討する。
2	・アナログな対応でなく、デジタルを活用した対応を検討したい。	・年一回の保護者へのアンケートを実施しているが、QRコードを活用した方法等を検討せず紙ベースで行っている。	・予算面等を検討する。
3	・外部の第三者評価を実施していない。	・要綱を作成していない。	・令和8年度に実施する。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター あゆむいいで (放課後等デイ)

公表日 令和8年2月13日

利用児童数 21名

回収数 15名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	15					
	2	15				とても目をかけていただいて ありがたいです。	ありがとうございます。これからもしっ かり対応して参ります。
	3	15					
	4	14	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	15					
	6	14			1		
	7	15					
	8	15					
	9	15					
	10	15					
	11	4	1	1	9	①交流できたらいいと思っ ていますが、ゆっくり実施 していただけたらと考えて います。 ②思いあたらぬ。	①②検討を継続して参ります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	15					
	13	15					
	14	13			1		
	15	15					
	16	15					
	17	15					
	18	13				3	
19	15						

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	15					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13			2		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1		
	26	事故等（怪我等を含む）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	14	1				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			① 中々、時間が下校から行く間に合わないのに行けない時が多いですが。 ② とても楽しみにしています。	① タイミング等をみながら可能な範囲でご利用ください。お待ちしております。 ② ありがとうございます。楽しめる活動を今後用意して参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				① 他でフォローしていただいているのでありがたいです。	① 他の事業もご利用いただいていますので、その中でお話をさせていただきます。継続して参ります。
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応				
<p>① 学年が上がるにつれて放課後等デイの利用が難しくなってきたり、利用回数が減ることが残念に思うことがある。（地域差は仕方ないとわかっていてもあゆむの存在が子供にとっても保護者にとっても大切な有難い場所になっているため）</p> <p>② いつも親子ともども本当にお世話になっております。社会性を培っていく上で本当にいつもありがたい学習の機会を与えていただいていると思います。又、最近思うのは、やはり幼児期（児発）の頃からの指導で本当に良い方向へむかって成長してくれていると感じています。早くあゆむさんに出会えて本当に良かったと今本当に思えるようになりました。今後どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>③ 児発（清水町）から利用させていただいていますが、一度も行くのを嫌がったことがなく、毎朝「今日あゆむ行けるの～」とニコニコ聞いてきます。土日は（あゆむがお休みで）「早くいきたいな～」と心待ちにしている様子です。家でお友達や職員さんのお名前がよく出てきます。本当に感謝でいっぱいです。</p> <p>④ 通所することはほとんどなくなりましたが、いつもあゆむの利用者の一員であることを感じる事ができ「いつも頼っている」という安心感があります。いつもありがとうございます。</p>				<p>① 貴重なご意見ありがとうございます。暖かいお言葉も嬉しく頂戴いたします。地域差を課題と捉えており、解消できるように関係機関と調整等を継続して参ります。</p> <p>② 貴重なお話と嬉しいお言葉大切に受け取ります。そのようにお考えいただける保護者の皆さんに多く出会えるように対応して参ります。</p> <p>③ お褒めの言葉大切に受け取ります。自宅であゆむのことが話題になること、本当に嬉しく思います。楽しんでいただけるようにして対応して参ります。</p> <p>④ いつも頼っていただける存在であり続けたいと思います。ありがとうございます。</p>				

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センター あゆむいいで (放課後等デイ)				
					公表日	令和8年2月13日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6				
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	1		都度の対応はできていると思うが、1対1でなくてもいい場合の動きがいまひとつな気がする。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、こどもの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6				
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6				
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6				
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		少し前の児発より、放デイではかなり参画していると思う		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			HPだけではなく「紙」でおとしてほしい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6			HPだけではなく「紙」でおとしてほしい。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6				
適切な支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	6				
	13 個別支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6				
	14 個別支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			支援は行われていると思うが、支援計画書をじっくり落とし込みたい。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1			
	16 個別支援計画には、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6				
	17 活動内容の立案をチームで行っているか。	6				

援 の 提 供	18	活動内容が固定化しないよう工夫しているか。	6		ルーティン化していることもあるが、時々、いつもとはちがった活動を提案はしている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、個別支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6			打ち合わせなどはしているが、その日の役割分担についての確認はないと思う（送迎以外はないと思う）
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか。	6			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6			
	29	就学前に利用していた保育所・保育園や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5	1		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	1		
	32	放課後児童クラブ等との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	2		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	37	個別支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			
	38	「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6			
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	44	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待したり地域行事に参加したりする等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	5	1		